

# 一 般 質 問 要 綱

平成 29 年第 4 回 6 月 定 例 会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	18	遠藤金美	1 一般行政について	(1) 定住自立圏形成協定の締結について伺いたい。
			2 建設行政について	(1) 県道熱塩加納・山都・西会津線の山都町内の通行止め箇所について伺いたい。
			3 教育行政について	(1) 喜多方市立小・中学校の適正配置について伺いたい。
2	16	齋藤仁一	1 子育て世帯向け定住促進住宅整備計画について	<p>(1) 定住促進住宅 50 戸の建設における旧 5 市町村ごとの配分が示されたが、喜多方地区 35 戸、塩川地区 12 戸、熱塩加納・山都・高郷地区が各 1 戸となっている。中心部に若者が集中することにつながる懸念があるが、旧 5 市町村の均衡ある発展を目指す市として、政策判断はしなかったのか伺いたい。</p> <p>(2) 喜多方及び塩川地区と熱塩加納、山都及び高郷地区との住宅整備方針が違うが、どういうことか。また、今後の人口減少によっては熱塩加納、山都及び高郷地区の住宅整備は行わないことにならないのか伺いたい。</p> <p>(3) 建設用地について、喜多方及び塩川地区の建設地の評価結果が示されているが、熱塩加納、山都及び高郷地区についてはなぜ示されていないのか。また、示されていない 3 地区は建設用地の要件に十分合致する用地があると考えられるが、その辺はどうか伺いたい。</p> <p>(4) この住宅整備に関する財源内訳はどのようになるのか。また、財政計画における後年度負担額及び財政指標はどのようになるのか伺いたい。</p>
			2 中期財政計画について	<p>(1) 今年度、新規事業として豊川・慶徳線道路整備事業が計上されているが、新規事業としてどのような協議がなされたのか。その経緯と事業採択された結果についてどのような政策判断があったのか伺いたい。</p> <p>(2) 中期財政計画では、この道路整備の全体計画（期間、予算規模など）が示されていないが、どの程度の事業になると見込んでいるのか伺いたい。</p> <p>(3) 新たな大型事業になるので、財政計画では後年度負担額、財政指標はどのように推移すると見込んでいるのか。また、この事業が他に計画している事業への影響はどのようになるのか伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			3 子ども・子育てについて	<p>(1) 産前・産後の市の支援体制はどのようになっているのか。特に産後ケア施設の利用実態はどのようになっているのか。また、この施設利用者に対する補助体制はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 市内の障がい児や発達障がい児の 3 年間の実態はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(3) 障がいの早期発見と早期療育のための乳幼児健診の対応と早期療育体制はどう整備されているのか伺いたい。</p> <p>(4) (3)に関して、保健師の専門性の確保はどのようになっているのか。また、専門医師は確保されているのか。そして、保健師と専門医師との連携はどのようになっているのか伺いたい。</p>
3	8	遠藤吉正	1 グリーン・ツーリズム施策について	<p>(1) 農泊・農業体験を伴う教育旅行の平成 28 年度実績及び平成 29 年度の受け入れ見込みについて伺います。</p> <p>(2) 教育旅行の誘致活動の取り組みと課題について伺います。</p> <p>(3) 受け入れ体制の現状と課題について伺います。</p>
			2 移住・定住施策について	<p>(1) 「きたかた活力推進プラン」における移住件数目標達成のための具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 移住・定住希望者の受け入れ体制の現状と課題について伺います。</p> <p>(3) 地域おこし協力隊の取り組み状況及び課題について伺います。</p> <p>(4) 移住・定住における地域おこし協力隊との連携について伺います。</p>
4	24	佐原正秀	1 多世代交流・共生のまちづくりについて	<p>わが国では超高齢化社会、人口減少社会と言ってもそのあり方は一様ではなく、都市自治体によって大きく異なります。しかし、人口減少社会は負の部分だけではなく、人口減少によって過密の問題が緩和され、ゆとりある国土利用が可能となるという面もあります。</p> <p>都市部と農村部を一体化したまちづくりの仕組みの検討や担い手の不足する当地方へ都市部からの移住を促進させることが必要であり、課題でもあります。</p> <p>多世代交流・共生の取り組みは人口が減少していく中においても、全ての人々が安心して暮らし続けられる明るい地域社会コミュニティを</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>いかにして形成していくべきかを模索し実行することであると考えます。</p> <p>そこで本市の現状と対応についてお尋ねします。</p> <p>(1) 人口減少社会における多世代交流・共生のビジョンはどうされますか。</p> <p>(2) 多世代交流・共生のための総合的なサービス提供の仕組みづくりはどうされますか。</p> <p>(3) 多世代交流・共生に取り組むことができる地域社会の仕組みづくりはどうされますか。</p> <p>(4) 地域社会の発展につながる住環境政策への取り組み推進をどうしますか。</p> <p>(5) 都市部と農村部の一体整備と交流の促進はどのように進めますか。</p> <p>(6) 地域社会を担う人材の発掘、育成についてどのように考えますか。</p> <p>(7) 自治体職員としての対応についてはどうしますか。</p>
			2 認知症の早期発見と高齢者の徘徊対策について	<p>孤立する高齢者や家族の相談を待つのではなく、医療や介護の専門職員でつくるチームが自ら情報収集して家庭訪問する「打って出る」取り組みで、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを目指すことはどうか。また、高齢者の徘徊対策として小型発信器購入時の助成策はどのように考えられますかお尋ねします。</p> <p>(1) 本市の高齢化率と高齢者の一人暮らしの割合はどのようになりますか。</p> <p>(2) 介護保険の対応についてはどうしますか。</p> <p>(3) 認知症相談の機会や早期発見の対策はどのようにされていますか。</p> <p>(4) 地域包括支援センターへの認知症初期集中支援チームの設置はどうしますか。</p> <p>(5) 若年性認知症の対策が課題になりますが、これらの対応はどうしますか。</p> <p>(6) 認知症に対する小型発信器購入時の助成はどのように考えられますか。</p> <p>(7) 小型発信器に対する国、県の支援を図るよう要望されたらどうですか。</p>
5	10	後藤誠司	1 「住むなら喜多方！」若者定住促進事業について	<p>本市の人口減少が進む中、若者定住を目指す本事業は大変的を得た施策と考えます。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) これまでの実績について伺います。</p> <p>ア 市内、市外別と合計の件数について</p> <p>イ 年代別の件数について</p> <p>ウ それぞれの補助金額について</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>エ 市内建築業者加算があるが、その割合について</p> <p>(2) 効果についてはどのように考えるか伺います。</p> <p>(3) 3年以内に住宅用地購入が要件であるが、未購入者は該当せず、不公平ではないかと考えるが、いかがか伺います。</p> <p>(4) 課題について伺います。</p>
			2 浄化槽の維持管理について	<p>合併浄化槽については適正に維持管理されることが義務づけられていますが、他方、受益者にとりましては、かさむ保守点検料が負担にもなっております。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 合併浄化槽の保守点検回数と料金について伺います。また、県による年1回の法定検査は必須かどうか。そして、その料金はいくらか伺います。</p> <p>(2) 合併浄化槽のくみ取り料金はいくらか伺います。また、地域(業者)により差異があるのかも伺います。</p> <p>(3) 合併浄化槽と下水道のメリット、デメリットについて伺います。</p>
6	3	小島 雄一	1 人口減少対策について	<p>総務省が本年1月に行った「田園回帰」に関する調査によると、実に都市部の住民の約3割が農山漁村に移住してみたいと回答しています。推定では既に毎年数万人の単位で田園回帰現象が始まっていると言われております。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 昨年の本市の人口動態を伺います。</p> <p>(2) 子育て世代の30代女性の動向を伺います。</p> <p>(3) 本市の高齢化率は33.8%と言われておりますが、小学校区ごとの人口と高齢化率を伺います。</p> <p>(4) 県は移住コーディネーター制度を発足させ、2年後には200世帯の定着を目指していますが、市の目標と取り組み体制を伺います。</p> <p>(5) 小さな拠点による自治組織がU・Iターン者の呼び込みに効果があると言われておりますが考えを伺います。</p>
			2 農林業ビジョンの策定について	<p>総合計画のもと、農林業の10年間のあり方を示す農林業ビジョンについて伺います。</p> <p>(1) 策定のスケジュールを伺います。</p> <p>(2) 策定会議委員はどのようになるのか伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(3) 本市農林業の将来像の基本目標を伺います。</p> <p>(4) 田園回帰の受け皿として、新規就農対策はどのようにするのか伺います。</p> <p>(5) 農業の 6 次化や輸出対策について伺います。</p> <p>(6) 観光業との連携はどうするのか伺います。</p>
7	9	渡部一樹	<p>1 入札制度改革について</p> <p>2 喜多方市子育て世帯向け定住促進住宅整備計画について</p>	<p>(1) 指名競争入札制度の試行について見解を伺いたい。</p> <p>(1) 総合戦略との整合性をどのように図るのか見解を伺いたい。 また、他の関連計画の見直しはどのような内容になるのか伺いたい。</p> <p>(2) 整備戸数の根拠となっている「ストック推計プログラム」とは何か伺いたい。</p> <p>(3) 建設候補地の選定基準の根拠について伺いたい。</p> <p>(4) 地区配分における熱塩加納、山都、高郷地区については立地適正化計画の検討と合わせた形で整備方針を整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。 また、空き家を活用した賃貸住宅の供給の具体策について伺いたい。</p>
8	21	大川原謙一	1 観光振興について	<p>(1) 昨年度に本市を訪れた観光客の入り込み数について伺う。</p> <p>(2) 4月に初めて開催した「喜多方さくらまつり」について伺う。</p> <p>(3) 三ノ倉高原の花畑について伺う。</p>
9	1	田中和加子	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 子どもの貧困対策と子育て支援・教育環境の整備について</p> <p>3 核兵器廃絶の取り組みについて</p>	<p>安倍首相の改憲発信に対する認識を問う。</p> <p>(1) 憲法第 9 条第 3 項として自衛隊の存在を明記するとの発言について</p> <p>(2) 2020 年に施行するとの発言について</p> <p>(3) 三権分立制と憲法尊重擁護義務について</p> <p>(1) 就学援助制度の充実について ア 入学準備金の単価と支給時期について イ 申請方法について ウ 民生児童委員による調査の中止について</p> <p>(2) 学校給食費の補助について</p> <p>(3) 小・中学校のエアコン設置について</p> <p>核兵器廃絶の市民意識の喚起の推進について</p> <p>(1) 市庁舎への「非核平和のまち宣言」の垂れ幕の掲示について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(2) 市民ホールへの被爆写真パネルの常設について
			4 JR只見線の復旧支援について	(1) 市の負担はいくらですか。 (2) 国とJR東日本に、社会的責任を果たし、自治体負担の軽減を求めることについて
10	7	上野利一郎	1 本市の文化事業について	(1) 平成 29 年度より、本市においても文化芸術創造都市としての活動を推進する予定であるが、文化芸術が持つ創造性を地域振興や観光・産業振興等に活用するために、どのように取り組むのか伺います。 (2) 喜多方人の精神文化である藤樹学の継承性は担保されるのか伺います。 (3) 藤樹学を広めた先人の墓地群を市の史跡として指定すべきと思うが、市の考えを伺います。
			2 子育て世帯向け定住促進住宅整備計画について	子育て世帯向け定住促進住宅の整備計画が示されたことを受け、以下について伺います。 (1) 旧県立喜多方商業高校跡地も建設予定地になっているが、この土地における他施設の建設予定計画や市内観光駐車場としての活用も含め、どのような検討がなされたか伺います。 (2) 喜多方地区の既存空き家の再利用について検討されたか伺います。 (3) 熱塩加納、山都、高郷地区においては既存空き家を活用した住宅を検討する方向であるが、その理由を伺います。
11	25	山口和男	1 消費生活センターについて	(1) 平成 28 年 10 月、本市に消費生活センターが開所されました。以降、年度末までにあった相談件数及びその内容をお伺いします。 (2) 2 名体制の運営ですが、その相談内容と処理結果についてお伺いします。 (3) 相談内容からおして、その背景や要因をどのように捉えていますかお伺いします。 (4) 二度と繰り返さないための啓発活動をどう考えますかお伺いします。
12	5	江花圭司	1 コンベンション誘致「MICE」産業基盤の整備について	「MICE：マイス」とは、Meeting（会議、研修、セミナー等）、Incentive tour（社員旅行、市民号、モニターツアー先になる等）、Convention（大会、国際会議等）、Conference（学会会議、研究会等）、Exhibition（展示会、見本市等）の頭文字を取って「M・I・C・E」と言います。 観光産業を基幹としている喜多方は「MICE：マイス」の誘致数を増やすことが

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>できれば大きな交流人口と波及効果を地域に促すことができる総合産業になり得ます。</p> <p>また、毎年度定期的な「MICE」により地域やお店の良さを知ったお客様は、自分以外の方々を連れておいでいただけるというヘビーリピーターになっていただける可能性が高いのも特長の一つです。</p> <p>コンベンションに関して喜多方での流れを言えば、一日目の昼食、MICE、交流会、まちなか飲食、宿泊、二日目の朝食（朝ラー）、エクスカーション（体験や観光）、お土産調達、昼食（解散）のようになり、会場設営や仕出し・ケータリング、燃料補給など地域経済の多く分野に波及します。しかし、喜多方に 300 人規模を一連の流れで誘致する文化施設は、現状では喜多方プラザ、押切川公園体育館、老朽化した厚生会館しかなく、宿泊に関しても手狭な状況を否めません。</p> <p>市は誘致や整備、支援に対して方向性を示し、「MICE」誘致の方針に沿った一体的な環境改善をしていくことで、交流人口の拡大や喜多方暮らしの良さ、定住促進、強力な産業創出をも見込むことができます。さらには、市民がまちなかで各界の方々と会う機会が創出されます。</p> <p>まずは、観光目的で来てもらうだけでなく、「MICE」目的で喜多方に来られる方々、初めて来られた多くの方々が、喜多方の魅力を PR する最大の対象であり、花でもてなす施策や日本一、世界一の日本酒、蔵のまちづくりの PR、ハード面の美しさとソフト面の温かきの両面からもてなし、満足してもらい、リピーターになっていただくことが、今喜多方に求められていることではないのでしょうか。</p> <p>これらの種まき施策を行わなければ、最短で 2 年後、3 年後の誘致も叶いません。</p> <p>(1) 新総合計画においては、企業誘致と教育旅行誘致はあっても、コンベンション・MICE 誘致で交流人口や宿泊者数拡大の施策はないのが現状です。今後の見解を伺います。</p> <p>(2) 老朽施設の対応、新設整備についての方針が示される時期を伺います。</p> <p>(3) 施設運営における照明、音響、舞台機械等舞台技術職としては、専門技術が必要となりますが、どのような職員体制で業務を行って</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>いるのか伺います。また、現場での育成に関して、どれくらいの期間を設け、どのような取り組みをしているのか。また、配属先とおおよその配属期間を伺います。</p> <p>(4) 芸術における交流では、喜多方市立美術館を拠点に、県立博物館主催で、まちなかまで活用し、「会津漆の芸術祭」から最近の「せびろまの夢」まで、まちなかの今ある資源を活用した取り組みが行われ、外国人芸術家も参加し、全国からの交流が図られました。</p> <p>このようにハード整備がなくてもできる MICE があります。そこで市立美術館と県立博物館との連携については、今後どのような企画で交流が図られていくのか伺います。</p>
			2 地域公共交通網形成計画(案)と総合計画との整合性について	<p>(1) 計画(案)に記載されている「地区で支える公共交通の仕組み」とは、どのような仕組みか伺います。</p> <p>(2) 「地区で支える公共交通の仕組み構築」までの行程を伺います。</p> <p>(3) 大きな目標に、利用者の利便性アップと財政負担の軽減と説明がありました。現在の計画(案)までの財政負担に対してどのような評価と課題を持っているか見解を伺います。</p>
13	2	矢吹 哲哉	1 市全体のまちづくり、旧市町村ごとの地域づくりと小・中学校の適正規模・適正配置計画及び公共施設等総合管理計画について	<p>(1) 市は小・中学校の適正規模・適正配置計画を平成 31 年度までに決定するとした。</p> <p>ア 適正規模とは、その基準はあるのか。市はどのように考えているのか。</p> <p>イ 適正配置とは、その基準はあるのか。旧 5 市町村ごとに配置を検討するのか。全市的な配置を検討しているのか。</p> <p>ウ 決定までの今後の進め方はどうするか。市民への説明、保護者及び地域住民との合意形成をどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 市は公共施設等総合管理計画を平成 29 年 3 月に決定した。</p> <p>ア 公共施設の総量(保有面積)を 30%削減とした根拠は何か。</p> <p>イ 施設類型別の削減目標、旧 5 市町村ごとの削減目標はどのように決めていくのか。</p> <p>ウ 地域住民との合意形成はどのようにしていくのか。</p> <p>エ 小・中学校の適正規模・適正配置計画は平成 31 年度中に決定するとしているが、それとの関連はどのように考え、進めていこうとしているのか。</p>



通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 本市の基金の現状と活用について	<p>(3) まちづくり、地域づくりの観点が大切であり、地域住民との合意形成と地域ごとの計画づくりが必要と考えるが、そのような考え、進め方をするのか。</p> <p>市の基金を暮らし、福祉の切実な要望にもっと積極的に活用すべきと考えるが、基金の現状と活用について伺う。</p> <p>(1) 基金の推移（平成 18 年度末と平成 27 年度末の現在高及び平成 28 年度の見込み額）はどのようなになっているか。基金全体と財政調整基金及び減債基金について伺う。</p> <p>(2) 基金が大幅に増えた要因は何か。財政調整基金と減債基金の合計で、平成 18 年度と比べ、平成 27 年度末は約 52 億 8000 万円と 5.7 倍に、金額では約 43 億 6000 万円も増えているが、なぜこんなに増えたのか、その要因は何か。</p> <p>(3) 今年度の中期財政計画では 5 年後は大きく減少することになっているが、なぜ減少していくのか。また、どのような事業に運用するのか。</p> <p>(4) なぜ市道豊川・慶徳線道路整備事業については今回の中期財政計画に計上し、平成 28 年度に国の交付金申請をしているのに、いまだに全体事業計画期間、全事業等の全体像、計画を議会や市民に明らかにしないのか。</p> <p>(5) 基金を毎年積み増し、ため込むのではなく、市民の暮らし、福祉の施策充実に活用すべきではないか。</p>
1 4	4	関本美樹子	1 本市における市民目線から見た林業の再生と資源の活用について	<p>(1) 森林整備計画・森林経営計画などに基づく本市の現状と農林業ビジョンの中の林業について伺う。</p> <p>(2) 市民と森林との関わり合いについて伺う。</p> <p>(3) 第 69 回全国植樹祭ふくしま 2018 に向けた本市の取り組みについて伺う。</p>
			2 次代を担う人づくりについて	<p>(1) 喜多方っ子「夢」実現事業について、その目的と計画及び手法はどのように考えるか伺う。</p> <p>(2) 学校課題対応事業について、その目的と計画及び手法はどのように考えるか伺う。</p>
			3 人にやさしいまちづくりについて	<p>(1) 認知症サポーター全般について、本市における計画と現状及びこれからの活動ビジョンについて伺う。</p> <p>(2) 高齢者や障がい者などの生活弱者のごみ出し援助について伺う。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
15	22	齋藤勘一郎	1 通学路の整備について	(1) 現在、小学生、中学生が通学している市道木曾・館ノ原線について、通学の安全面からどのように捉えているのか伺う。 (2) 本路線上には商工会、山都総合支所、J A 山都支店など公共施設等が続くエリアであり、山都総合支所が新築移転となり、現総合支所前の見通しの悪いカーブの解消を含め、全線を通学路としてどのように整備する考えなのか伺う。
			2 有害獣対策について	(1) イノシシの出没、被害及び駆除状況について（平成 28 年 4 月～平成 29 年 4 月） (2) イノシシの生態、習性について (3) イノシシの駆除方法、対策について
16	14	坂内鉄次	1 観光行政について	(1) 旧甲斐家蔵住宅の保存・活用について (2) 観光物産協会の法人化について
			2 市の人事管理について	(1) 職員の働き方について (2) 人事異動について (3) 職員の採用について (4) 女性職員の登用について (5) 人事交流の実績と成果について
17	12	小林時夫	1 防災・減災対策について	(1) 自主防災組織の拡充について ア 自主防災組織の現状について イ 自主防災組織助成金の延長について (2) 災害弱者対策について ア 家具等転倒防止対策について イ 感震ブレーカーの補助について (3) 避難所の表示看板及び誘導・案内看板について ア 災害の種類に応じた表示看板について イ 避難所の誘導・案内看板について
			2 交通安全対策について	(1) ドライブレコーダーの設置について (2) ゾーン 30 の設置拡充について
18	15	長澤勝幸	1 新基幹業務システムへの移行について	(1) 新基幹業務システム移行に向けた検討の進捗状況について (2) コンビニ収納の実施について
			2 総合型地域スポーツクラブの取り組みについて	(1) 現存する総合型地域スポーツクラブの現状認識と今後の対応について (2) 市体育協会支援事業費の拡充に伴う具体策について
19	17	田中雅人	1 市長の政治姿勢について（原発事故関連）	原発事故から 7 年目、弊宅敷地の一部で地表面において毎時 1.152 マイクロシーベルトが測定され、地表高さ 1 メートルでも毎時 0.253 マイクロシーベルトを確認した。 毎時 0.23 マイクロシーベルトを超える数値は除染が必要なレベルであり、市に測定結果を

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>報告した。</p> <p>原発事故という未曾有の経験をうやむやにせず、しっかり現実に向き合う必要があるが、市の対応を伺う。</p> <p>(1) 本市の放射能汚染の現状と認識について伺う。</p> <p>(2) ホット・スポットへの対応について伺う。</p> <p>(3) 原発事故による市民生活への制限状況について伺う。</p> <p>(4) 賠償問題の現況を伺う。</p>
			2 消防団（広域消防含む）の現状と対応について	<p>(1) 地域防災力の充実強化に向けた市の取り組みを伺う。</p> <p>ア 各団員の待遇と保険の現状について伺う。</p> <p>イ 機能別団員、支援隊についての認識を伺う。</p> <p>ウ 地域・集落の消防団への経済支援状況及び総額を伺う。</p> <p>(2) 消防団員の確保努力の実態と定数に対する充足率を伺う。</p> <p>(3) 広域市町村圏組合・消防職員の定数に対する充足率を伺う。</p> <p>ア 国基準と条例基準の 2 種についての充足率を伺う。</p> <p>(4) 塩川分署の設置検討について伺う。</p>
			3 小学校農業科の取り組みについて	<p>(1) 今年で 11 年目を迎えた小学校の農業科設置、これまでの経過と成果について伺う。</p> <p>(2) 農業科支援員の実情と課題を伺う。</p>
20	6	渡部 信夫	1 住民自治について	<p>(1) 自治基本条例に基づく住民自治の将来像について伺います。</p> <p>(2) 具体的政策を進めるための住民自治の組織と運営形態について伺います。</p> <p>(3) 地域ごとの事業推進や課題解決のための予算措置について伺います。</p>
			2 水田農業政策について	<p>(1) 本年産の作付け実態と価格情勢について</p> <p>ア 態様別及び主食用米の品種別の作付け実態を伺います。</p> <p>イ 作付け実態と価格情勢の見解を伺います。</p> <p>(2) 平成 30 年産米からの米の需給調整について</p> <p>ア 生産目標数量の目安の提示について伺います。</p> <p>イ 需要に応じた態様別、用途別の取り組み方針を伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>ウ 産地交付金について伺います。</p> <p>(3) 飼料用米について</p> <p>ア 作付けと利用の実態を伺います。</p> <p>イ 課題をどのように捉え、作付け振興をどのように進めるか伺います。</p> <p>(4) 環境保全型農業について</p> <p>ア 取り組み農家の実態と交付単価の減額について伺います。</p> <p>イ 交付金の減額の補てんについて伺います。</p> <p>(5) GAP について</p> <p>ア GAP の概要と米に関する認証を伺います。</p> <p>イ 市ではどのように取り組む方針か伺います。</p>